学校番号	3010

令和5年度 工業（プロダクトデザイン） 科

教科	工業	科目	基礎デザイン実習	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	デザインの色彩（日本色研事業）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎デザイン実習では、今後必要となるデザインの基礎や知識を身に付けます。からす口の使い方やポスターカラーの使い方、デッサンの描き方、ケント紙を使った造形などデザインにおける適切な道具の使い方や技術を身につけ、今後の作品制作に役立たせることができるようにします。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

(1)色彩構成、立体構成に必要な道具の使い方やさまざまな技法を身に付ける。
(2)デザイン分野に関する課題を見いだすとともに構想を立てる力、表現力を身に付ける。
(3)プロダクトデザインの分野に関する広い視野を持つことをめざして自ら学び，今後の作品制作活動に活かせる力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザインに必要な基本的な技術や知識を、実践を通じて身に付ける。	プロダクトデザイン分野に関する課題を見いだすとともに構想を立て、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。	プロダクトデザインの分野に関する広い視野を持つことをめざして自ら学び，工業の発展に主体的に協働して取り組む。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	技法①	・からす口の使い方 ・溝引きの使い方 ・デッサンの描き方 ・レタリング ・タイポグラフィーとロゴマークの制作 ポスターカラーによる着彩	a：道具の使い方や課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け作品制作を行っているか。 b:制作意図を理解して適切な手段を講じて創造的な表現方法を工夫しているか。 c: 自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けているか。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション	学習状況の観察 作品 課題の提出状況
2	技法②	・タイポグラフィーとロゴマークの制作 ポスターカラーによる着彩 プレゼンテーション ・色彩構成 ・さまざまな技法 マーブリング スパッタリング ドライブラシなど ・じゃばら折り	a：道具の使い方や課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け作品制作を行っているか。 b:制作意図を理解して適切な手段を講じて創造的な表現方法を工夫しているか。 c: 自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けているか。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション	学習状況の観察 作品 課題の提出状況
3	技法③	・じゃばら折りを使った製品の制作 プレゼンテーション	a：道具の使い方や課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け作品制作を行っているか。 b:制作意図を理解して適切な手段を講じて創造的な表現方法を工夫しているか。 c: 自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けているか。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション	学習状況の観察 作品 課題の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度